

社会資本総合整備計画（防災・安全） 事後評価書

計画の名称		川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）				重点計画の該当						
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）	交付対象	川口市									
計画の目標	市民の生命と財産を守る安全・安心な生活環境づくりを基本とし、市民の暮らしを守るため、地震、風水害や火災に強い都市基盤の構築を進める。											
計画の成果目標（定量的指標）	1 川口市への居住意向 2 川口市の施策に対する満足度 3 個別の事業における直接的な成果目標											
定量的指標の定義及び算定式												
		定量的指標の現況値及び目標値			備考							
		当初現況値 (H24当初)	最終目標値 (H28末)	現況値 (H28末)								
1	今後も川口市に住み続けたいと回答した割合（％）	84.1%	89.1%	83.3%								
2-1	良好な住環境の推進について満足・やや満足と回答した割合（％）	50.8%	55.8%	55.8%								
2-2	魅力と活力を育む土地利用の推進について満足・やや満足と回答した割合（％）	43.7%	48.7%	40.6%								
2-3	総合的な交通基盤の充実について満足・やや満足と回答した割合（％）	45.0%	50.0%	※								
2-4	下水道事業の推進について満足・やや満足と回答した割合（％）	61.8%	66.8%	71.0%								
2-5	美しくうるおいのある景観形成の推進について満足・やや満足と回答した割合（％）	46.8%	51.8%	※								
2-6	豊かな水と緑に親しめる都市の創出について満足・やや満足と回答した割合（％）	50.5%	55.5%	48.9%								
3-1	歩行者等が安全に通行できる延長の割合。改善必要ルートの全延長と歩道等の整備により安全な通行が確保された延長より算出。 (安全道路空間の確保率) = Σ(改善必要ルートのうち安全通行確保延長) / Σ(改善必要ルートの全延長) × 100	0.0%	100.0%	26.0%								
3-2	周辺住民や利用者の道路整備に関する満足状況をアンケートにより聴取。うち、高評価を得られた回答の割合を算出。 (住民の安全・快適実感率) = [Σ(単路線の安全・快適実感回答数/単路線の有効回答数)] / 測定路線数 × 100	0.0%	80.0%	—								
3-3	事業エリア、区間内における年間交通事故発生件数を調査する。 (交通事故発生件数(年間)の削減率) = (当初の事故発生件数 - 評価時点の事故発生件数) / (当初の事故発生件数) (％)	0.0% (299件)	20.0% (239件)	26.0%								
3-4	街路整備の進捗率(用地取得面積/事業用地の面積)	64.6%	75.0%	※								
3-5	都市基盤が整備された良好な市街地の割合 = Σ(対象地区面積 × 使用収益開始率) / Σ(対象地区面積)	21.0%	27.0%	※								
3-6	川口金山町地区における公園・緑地・広場の状況等をもとにしたオープンスペースの増加面積。	2,002㎡ 3箇所	3,802㎡ 4箇所	※								
3-7	芝川改修事業による護岸施工進捗率 (施工予定延長 高水護岸3,240m ・ 低水護岸3,240m)	51.2%	60.8%	62.7%								
3-8	芝川改修事業用地取得面積 (予定取得面積 13,000㎡)	67.1%	73.5%	73.5%								
3-9	前野宿川調整池の雨水貯留量 (％)	67.2%	100.0%	100.0%								
3-10	公共施設管理者負担金による辰井川河川事業用地の取得面積 (㎡) (予定取得面積 6,451.94㎡)	17.7%	25.2%	24.7%								
3-11	下水道による雨水対策施設の整備率(横曽根第六排水区) 浸水対策完了済み整備延長 (m) / 浸水対策を実施すべき整備延長 (m)	26.1%	39.1%	32.4%								
3-12	下水道による雨水対策施設の整備率(荒川左岸南部雨水) 雨水ポンプ場建設 1箇所、雨水調整池建設 1箇所	0箇所	2箇所	2箇所								
3-13	合流式下水道改善率 合流式下水道改善面積 (ha) / 合流区域面積 (ha)	24.6%	100.0%	100.0%								
3-14	下水道処理人口普及率(全市) 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口	84.6%	86.7%	86.5%								
3-15	戸塚南部地区内建築着工件数	1,485件	2,300件	※								
3-16	戸塚安行駅利用者数	5,800人	6,300人	※								
3-17	公園緑地面積の増加	29.3ha	32.8ha	※								
3-18	芝東第3・芝東第4・新郷東部第2・里地区内における救急車等の緊急車両の到達時間を短縮させる地区内道路の整備率 = Σ(対象地区内整備済み道路延長) / Σ(対象地区内計画道路延長)	22.9%	25.7%	31.1%								
3-19	対象地区内における一とき避難広場(公園)の整備率 = Σ(対象地区内整備済み公園面積) / Σ(対象地区内計画公園面積)	17.2%	19.8%	19.8%								
3-20	市内における市営住宅の戸数(戸) ※建設中の戸数を含む	2,649戸	2,730戸	2,657戸								
3-21	耐震化の対象となる中高層の市営住宅における耐震性ありの棟数の割合(％)	91.1%	95.6%	97.8%								
3-22	住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数) (％)	82.0%	91.0%	91.0%								
3-23	幅員4m未満の狭い道路を拡幅整備する割合 (狭い道路拡幅整備率) = (狭い道路の拡幅整備延長) / (H28時点で目標とする狭い道路の拡幅整備延長 1,490m) (％)	0%	100.0%	※								
3-24	住宅の新規供給戸数(計画期間内の住宅整備戸数)(戸)	25戸	240戸	※								
3-25	桜町3・4丁目における消防活動困難区域の解消率 (桜町3・4丁目の地区面積 - 桜町3・4丁目の消防活動困難区域面積) / (桜町3・4丁目の地区面積) (％)	91.0%	95.0%	※								
3-26	安全に通行できる延長の割合(％) (安全道路空間の確保率) = Σ(改善必要ルートのうち安全通行確保延長) / Σ(改善必要ルートの全延長) × 100	0.0%	100.0%	95.0%								
3-27	芝地区住宅市街地総合整備事業(芝富士地区)区域内における消防活動困難区域の解消率 (重点整備地区面積 - 消防活動困難区域面積) / (重点整備地区面積) (％)	98.5%	100%	99.2%								
3-28	主要幹線等道路で劣化した舗装を良好な状態に維持するために修繕整備する割合 (劣化した道路の修繕整備率) = (劣化した道路の整備済延長) / (目標とする劣化した道路の整備延長14,000m) (％)	0.0%	100.0%	22.0%								
3-29	里地区住宅市街地総合整備事業区域内における老朽建築物の解消率(％) 除却を行った老朽建築物戸数 / 老朽建築物戸数261戸 (％)	0.0%	27.6%	10.3%								
3-30	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業計画に基づき、更新をした遊戯施設の割合の増加。 (遊戯施設の更新率) = (更新済み遊戯施設数) / (計画における更新が必要な遊戯施設数) (％) (※計画期間H25年度 4施設)	0.0% (0施設)	100.0% (4施設)	100.0%								
3-31	下水道による雨水対策施設の整備率(中川雨水) 浸水対策完了済み整備延長 (m) / 浸水対策を実施すべき整備延長 (m)	0.0%	100.0%	100.0%								
3-32	市内の市立高校とSKIPシティの連携による科学館等の利用時間(時間/年)	5時間	10時間	※								
3-33	SKIPシティから埼玉高速鉄道線鳩ヶ谷駅までの移動に係る所要時間(分)	15分	10分	※								
3-34	前野宿川改修事業による護岸施工進捗率(％)	0.0% H27新規	15.6%	11.3%								
3-35	下水道による管渠の地震対策実施率 耐震化済み管渠延長 (km) / 総合地震対策計画に位置づけた耐震化が必要な管渠延長 (km) (※計画期間H27～31年度 L=3.2km)	0.0%	18.8%	15.9%								
3-36	下水道によるポンプ場の地震対策着手率 地震対策に着手するポンプ場(箇所) / 総合地震対策計画に位置づけたポンプ場(箇所) (※計画期間H27～31年度 7箇所)	0箇所	57.1% (4箇所)	42.9% (3箇所)								
3-37	下水道によるマンホールトイレの整備率 マンホールトイレを整備する箇所(箇所) / 総合地震対策計画期間に整備する箇所(箇所) (※計画期間H27～31年度 10箇所)	0箇所	40.0% (4箇所)	40.0% (4箇所)								
3-38	公園施設長寿命化計画に基づき、更新をした遊戯施設の割合の増加(％) (遊戯施設の更新率) = (更新済み遊戯施設数) / (計画期間に更新が必要な遊戯施設数) (％) (※計画期間H27～35年度 75施設)	0.0% (0施設)	29.3% (22施設)	29.3% (22施設)								
3-39	市営住宅ストック総合改善工事の実施率 (ストック総合改善実施率) = (改善した工事数) / (昭和40年以降建設の住宅宅、平成28年度までに修繕周期を迎える工事数) (％)	0.0%	32.8%	※								
3-40	青木保健ステーションへ来所による健康相談の件数(件/月)	0件	8件	27件								
3-41	防災無線デジタル機器子局の整備	178基	214基	※								
3-42	保全緑地の公有地化面積	38,701㎡	40,139㎡	※								
3-43	障害者福祉施設における耐震性ありの施設数の割合(％)	57.1%	100.0%	100.0%								
3-44	公設公営保育所における耐震化率 = 耐震性が確保された保育所数 / 全体の保育所数	63.3%	80.0%	80.0%								
3-45	耐震化の対象となる公民館等における耐震化着手率 (耐震改修・耐震診断等実施施設数) / (耐震化対象施設数) (％)	46.4%	100.0%	100.0%								
3-46	老人福祉施設(老人福祉センター)の耐震化の割合 (老人福祉センターの耐震化率) = (耐震化が確保された施設数) / (全施設数) (％)	40.0%	50.0%	50.0%								
3-47	市内の住居表示地区の割合	56.8%	58.4%	※								
3-48	赤山歴史自然公園整備事業(仮称)の進捗に伴う計画目標値への貢献度(人口1人あたりの公園緑地面積) (赤山歴史自然公園整備面積+その他の公園緑地面積) (㎡)	3.43%	3.44%	※								
3-49	石神西立野・安行藤八地区内における救急車等の緊急車両の到達時間を短縮させる地区内道路の整備率 = Σ(対象地区内整備済み道路延長) / Σ(対象地区内計画道路延長)	35.7%	37.6%	※								
3-50	石神西立野地区公共施設整備率 (地区内公共施設整備面積) / (地区内公共施設計画面積) (％)	30.7%	32.7%	※								
3-51	戸塚東部特定土地地区画整理事業地区内における救急車等の緊急車両の到達時間を短縮させる地区内道路の整備率 = Σ(対象地区内整備済み道路延長) / Σ(対象地区内計画道路延長)	67.3%	70.0%	※								
3-52	戸塚東部特定土地地区画整理事業地区公共施設整備率 (地区内公共施設整備面積) / (地区内公共施設計画面積) (％)	53.6%	56.4%	※								
3-53	芝第2・第5地区住宅市街地総合整備事業区域内における老朽住宅の把握	0.0%	100.0%	100.0%								
3-54	「多数の者が利用する建築物」の台帳をもとに算出 (耐震化を有していることが確認できた多数の者が利用する建築物) / (全ての多数の者が利用する建築物) (％)	75.5%	86.2%	86.0%	※印については、防災安全要素事業無し。通常にて評価。							
3-55	公園施設長寿命化計画を策定した都市公園の割合の増加 (計画策定割合) = (策定済み公園数) / (都市公園の数) (％) (都市公園376公園のうち平成28年度までに54公園、平成30年までに100公園)	0.0%	14.4%	7.7%								
3-56	川口市バリアフリー特定事業計画に基づき、改善した公園施設の割合の増加 (改善した公園施設の割合) = (対応済み公園施設数) / (対象公園施設数) (％) (平成28年度3施設、平成29年度3施設)	0.0%	50.0%	0.0%								
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	20,464百万円	A	19,660百万円 (うち提案事業分 0百万円)	B	0百万円	C	804百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C) / (A+B+C+D)	3.9%

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考	
	当初現況値 (H24当初)	最終目標値 (H28末)	現況値 (H28末)		
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		別紙のとおり			
II 定量的指標の達成状況		最終目標値	別紙のとおり	目標と実績値に 差が出た要因	別紙のとおり
		最終実績値		目標と実績値に 差が出た要因	
		最終目標値		目標と実績値に 差が出た要因	
		最終実績値		目標と実績値に 差が出た要因	
		最終目標値		目標と実績値に 差が出た要因	
		最終実績値		目標と実績値に 差が出た要因	
		最終目標値		目標と実績値に 差が出た要因	
		最終実績値		目標と実績値に 差が出た要因	
3. 特記事項					